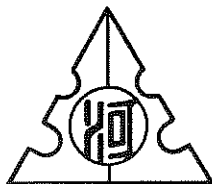


上ノ国町立河北中学校

所在地 松山郡上ノ国町字桂岡14番地

校章



校歌 作詞 東海林辰夫
作曲 片桐 誠一

(一) 天の川 たゆたい流れ
茂刈山 緑なしつつ
風薫る 桂が丘に
そそり立ち いらかも高く
なつかしき わが学舎よ
日に月に 学びいそしみ
うつくしき まことの心
わが友と はぐくみ行かん

(二) 海鳴りの嵐はたけり
赤岳の 峰もふぶきて
風すさぶ 桂が丘に
そびえ立つ いらかも高く
ゆるぎなき わが学舎よ
風雪に たゆむことなく
剛健の心をもちて
わが友と はげみ進まん

1. 沿革概要

S 22. 5. 3 新教育制度により河北小学校に併置し開校式挙行
S 22.12.22 教育後援会を解散し、河北小中学校父母と先生の会を結成
S 24. 8.25 新校舎落成式及び祝賀行事を行う
(中須田青年会館より移転)
校歌制定 (現在 小学校校歌)
S 28. 4. 1 河北中学校として、独立校となる
S 29.10. 中学校校舎新築完成、落成記念式典及び祝賀行事を行う
所在地 上ノ国町字桂岡14番地

S 38. 5 体育館新築落成
S 40.12.21 特別教室増築
S 41. 4.21 飲料水用簡易水道敷設
S 41. 9.25 特別教室へテレビ設置
S 43. 4. 8 校旗制定、樹立式を行う
S 43. 6. 2 更衣室、水飲場工事終了、完成
S 44. 7.14 グラウンド工事竣工式及び祝賀行事挙行
S 44.11. 2 新校歌制定、披露、記念行事挙行
作詞 東海林辰夫 作曲 片桐誠一
S 44.12. 2 自転車小屋移転及び増設
体育館防湿止め工事施工
S 46. 5. 1 江差町ほか2町学校給食開始
S 46. 6.23 グラウンド整地、特設便所、通路工事完了
S 46.10. 2 野球用バックネット完成・鉄防設置便槽注流水防止工事、屋体防雪工事
S 47.10. 7 創立25周年並びにグラウンド完成記念式典及び祝賀行事を行う
正面階段、校門、花壇の完成
S 49.12. 6 公開研究発表会を開催
S 50. 6.22 小中学校運動会を中学校グラウンドではじめて開催
S 50. 9. 町連P研究大会を本校で開催
生徒によるタイムカプセル埋設
S 53. 3. 松山管内教育実践表彰を受賞
S 54. 1.27 桂岡地区火災への協力に対し町長感謝状受賞
S 55. 4.10 河北中学校体育後援会発足
S 56. 9. 放送設備、体育館証明設備新設
S 57. 8. 教育相談室新設

- S 58. 8.24 外国人留学生来校、国際交流始まる
 S 58. 9.13 3教室にTV・ビデオ装置設置
 S 59. 1.21 PTA百人一首大会開催(第1回)
 S 60. 2. 6 桧山教育局指定による校内公開研究会開催
 H 1. 5.27 校舎前庭に砂利投入整地
 H 1. 7.25 体育館、校舎補修、塗装
 H 1. 9.27 桧山教育局、町教委指定公開研究会開催
 H 2. 5.23 グラウンド東側に苗木100本植樹
 H 2. 7.28 便所改修工事、塗装工事完了
 H 3. 2.22 教育実践論文入賞し、表彰される
 H 4. 9.19 河北小中PTAが、道P連団体表彰を受賞
 H 4.10.30 河北中学校公開研究会開催
 H 6. 3. 1 教育実践論文入賞し、表彰される
 H 7. 7.18 河北中学校閉校準備委員会発足
 H 8. 2.17 河北中学校閉校式典挙行および河北中学校「語る会」を開催
 H 8. 3.31 河北中学校閉校・49年間の歴史の幕を閉じる



〔14代 長崎 潔校長〕

2. 歴代学校長

歴代	氏 名	在 職 期 間
初代	大 石 二 朗	S 22.5.3~23.4.20
2代	東 條 博 夫	S 23.4.20~26.4.16
3代	町 田 秀 蔵	S 26.4.16~28.4.1
4代	若 狭 龍太郎	S 28.4.1~40.4.1
5代	村 川 甚一郎	S 40.4.1~44.3.31
6代	佐々木 武一郎	S 44.4.1~47.4.1
7代	高 田 力	S 47.4.1~51.3.31
8代	近 藤 昌 蔵	S 51.4.1~56.3.31
9代	宮 下 健 一	S 56.4.1~58.3.31
10代	沼 達 雄 一	S 58.4.1~61.3.31
11代	石 黒 正 次	S 61.4.1~H 1.3.31
12代	石 岡 夏 男	H 1.4.1~4.3.31
13代	遠 藤 豊 次	H 4.4.1~7.3.31
14代	長 崎 潔	H 7.4.1~8.3.31

3. 学級数、教員数、生徒数の推移

年 度	学 級 数	職 員 数	生 徒 数
S 22	2	5	81
23	3	5	83
24	3	7	122
25	4	8	134
26	4	8	122
27	4	7	160
28	5	7	168
29	6	9	210
30	6	9	197
31	6	9	207
32	6	9	208
33	6	10	196
34	6	10	211
35	6	9	228
36	6	9	264
37	6	9	283
38	6	9	274
39	6	10	257
40	6	10	240
41	6	10	246
42	6	11	233
43	6	11	204
44	6	11	166
45	5	10	145
46	5	10	153

年 度	学 級 数	職 員 数	生 徒 数
47	4	8	140
48	4	8	134
49	3	8	115
50	3	8	113
51	3	8	102
52	3	10	101
53	3	10	101
54	3	10	100
55	3	10	91
56	3	10	95
57	3	11	98
58	3	11	91
59	3	11	93
60	3	11	89
61	3	11	90
62	3	11	87
63	3	11	81
H 1	3	11	77
2	3	12	62
3	3	12	60
4	3	12	54
5	3	12	60
6	3	12	48
7	3	12	47

(卒業生累計 2,227名)

4. 特記すべき学校の顔

(1) 木々に囲まれた学校

本校は、農村地帯で東西に流れる天の川の北の小高い丘に建っている。周囲は緑豊かな木々に囲まれ、四季折々の美しい彩りを見せてくれる。

ゆきやなぎ、れんぎょう、椿、ツツジ、合歡木、むくげ、桜、紅葉、白樺、とど松、杉、落葉松。

これらは、若狭龍太郎校長時代に、地域と生徒の協力を得て植樹し、丹精して育てたものである。

特に珍木として、古生代の木で生きた化石といわれる「メタセコイア」(別名アケボノスギ)が一本大きく育っている。

このような学校環境の中で、生徒達は学び「明るく素直で、たくましさ」を身につけて卒業し社会のために役立つ人間として、広く活躍している。

(2) 意欲的な生徒の活動

河北中生徒は、学習面はもとよりクラブ活動や部活動でも熱心に練習した。その成果がみのり、各種大会で優秀な成績を収めた。それを支えたのが、情熱をもって指導にあたった教師集団であり、物心両面にわたって惜しみない支援と協力をしてくれた父母の姿があった。

① 野 球

- ・ S54年 全道大会に出場
- ・ S57年 管内大会に出場

② 女子バスケットボール

- ・ S48年 全道大会に出場
- ・ H3年 管内大会 準優勝
- ・ H4年 全道大会に出場
- ・ 町教委よりスポーツ章受賞 (H3～6年)

③ 陸上競技

- ・ S54年 全道 砲丸投 第4位
- ・ H4年 全道 1年100m準決勝進出
- ・ H6年 全道 3種B出場
- ・ H7年 全道 砲丸投女子第5位

④ 柔 道

- ・ H2年 全道 個人2階級出場
- ・ H3年 全道 団体・個人3階級出場
- ・ H4年 全道 団体・個人2階級出場
- ・ H5年 全道 団体ベスト8
個人3階級出場
- ・ H6年 全道 団体ベスト6
個人2階級出場
- ・ H7年 全道 団体 第3位
個人2階級出場

⑤ サッカー

- ・ H7年 生徒の希望により創部。南部中体連大会で第3位。管内新人戦で第3位、同じく秋季大会では準優勝と活躍した。

⑥ 文化関係

- ・ 管内英語暗唱大会では、S63年から連続して3ヵ年全道大会に出場し好成績を収めた。
- ・ 絵画、書道、ポスター、標語、作文などの作品を出品し、多数入選している。

(3) 活発だった研究活動

教職員の資質向上と生徒の学習、生活指導の充実を目指して、全員による研究活動が展開されてきた。昭和49年には、校内公開研究会の開催し52年には、管内教育実践表彰を受賞している。

近年では、平成2年に「教師と生徒の主體的な活動を促し、学習指導の充実を図る」研究、平成5年には、「個に応じた指導を通して、生徒一人一人の学習意欲の高揚と支援のありかた」の研究で、松山教育局と町教委の研究指定校として公開研究会を開催し、その成果により、教育実践表彰を受賞している。

(4) 学校・地域と連携したPTA活動

小、中学校を通した単一の組織として、昭和22年以来、児童生徒の健全育成を目指して、研究活動と学校教育の支援を継続してきた。特に、単P研究会の開催、子ども会活動の実践、学校行事等への協力など、大きな実績をあげてきた。

その活動が認められ、平成4年には、道

P連団体表彰の受賞。更に、前会長 京谷氏が、道P連日P連個人表彰へとつながったものである。

5. 統合の経過

過疎化、少子化により、生徒数が減少するとともに、校舎の老朽化が進む中で、教育の今日的課題への対応と教育環境の充実のため、町内の湯ノ岱、河北、上ノ国、滝沢の4中学校を新設上ノ国中学校に統合するものである。

『桂が丘の学舎』

元PTA会長 石黒芳一

「桂が丘の学舎に」私の心の中から、忘れられない言葉として、時折口ずさむこともあります。かつて小学校の頃、8年間学んだ校舎、昭和24年に改築移転しましたが、29年の年に現在の新校舎が立派に出来ました。当時その整地のため、校下総出でスコップとモッコで汗を流したことが、なつかしく思い出されます。また、5日間にわたる落成祝賀行事の最終日の9月10日に行われた大運動会は、見事な秋晴れの中、校舎並びに生徒の前途を祝うにふさわしい行事でした。落成式後間もなく15号台風周囲の大被害にもかかわらず、厳としてそびえ立つ姿は真に頼もしい限りでした。

当時は生徒数も多く、6教室満杯という中で、先生方のご苦勞されたことと思いますが、生徒達は喜々として登下校する姿が目に見え、参ります。

河北には、質実剛健を旨とする素晴らしい伝統があり、かつて男生徒は全員丸刈り頭で、スポーツでは、相撲、柔道、陸上競技等では好成績をあげていました。40年代私がPTAに関係していた頃、渡島管内から続けてお二人の新任の校長先生が来まして、生徒たちの素直な中にも豪快な精神力をみて、素晴らしい子供達だと感心していたことを、深く今も心の中に残っております。

「桂が丘の学舎」が消えてゆくのは淋しい限りですが、子供達がより良い環境で学ぶこ

とを心から願い、将来に向け大きく羽ばたいてもらいたいと思います。

『私にとっての河北中』

第45回卒業生 新谷麻美

「バスケ部、さぶちゃん、くさいトイレ、グラウンドに熊、授業中の花見、教室の下のマムシ、栗ひろい、学校行事、池のまわりのベンチ、アブだらけの体育館、ジェットヒーター、職員室のコーヒー、体育館わきのみつ葉、相談室の匂い、急な坂、前庭、あちこちの落書き、ストーブの難点、体育の時間のエビ取り、花壇のトマトの行方、実験器具のそうじ、給食室が更衣室、先生たちの噂……」あげるときりがないほど、中学の思い出はたくさんあります。それぞれの場所や物事にまつわるエピソードは人によって違いますが、私の中では楽しかったことも、嫌だったことも、よい思い出として残っています。

夢中でバスケットをしていた時はあっという間に過ぎ、部活動引退後、私は早く高校生になりたかった。学区外への高校進学を決めた時に、中学は高校までのステップであり、通過点に過ぎないと考えようになった。背伸びをしたい年頃だったのか、広い視野をもちたかった。

高校、大学と地元を離れ、友達からの手紙で中学生の頃がなつかしく、長期休暇のたびに顔を出しています。中学の頃は早く卒業したくてたまらなかったのに、なつかしさのあまり足が向います。

大学の講義で教育学を受けてみて、私は自分の母校を誇れるようになりました。恥ずかしい話、私は田舎で育ったことに劣等感を持っていたのです。考えを改める機会が早めにあって良かったと思います。

来年度から母校が閉校するのは、寂しく残念に思います。河北中学校が閉校しても、今までの地域の教育や子供会活動などの河北の良さを生かし、より良い上ノ国中学校になることを期待します。